第１８回北広島市総合計画推進委員会 会議録

日　　時	平成 27 年 11 月 30 日（月）10:00～11:20
会　　場	市役所本庁舎 2 階　会議室
出 席 委 員	鈴木聡士委員長、天羽　浩委員、谷本雄司委員、桂　裕章委員
欠 席 委 員	武者加苗委員
市 出 席 者	【企画財政部】中屋直部長、川村裕樹次長 【企画課】加藤丈博主査、大西岳主任 【財政課】田中宏明課長、佐藤亮主査

1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

2. 会議録署名委員の選出

委員長の指名により、谷本委員を第 18 回推進計画委員会会議録の署名委員としたい旨提案があり、了承された。

3. 議事

【議案 1】総合計画中間年度見直し原案について

事務局より見直し原案について説明

○B 委員

11 頁の将来人口推計の表の中で、各年の何月時点の人口か分かるように表記したほうがよいのではないか。

○事務局

修正する。

○委員長

将来人口推計について、市独自推計値と社人研の推計値に差がある。どのような経緯で 6 万人に設定したのか。

○事務局

市独自推計値に人口ビジョン・総合戦略の取組みによる出生率の上昇などを加味して将来目標として設定している。

○B 委員

94 頁の基本指標の中で、老年人口が平成 27 年度目標値と比較して開きがあるが、主な原因は。

○事務局

平成 27 年度目標値は、5 年前の社人研の数値を元に算出したため、実態と開きがある。

○B 委員

66 頁の市街地整備の推進の基本的方向の中で、用途地域の見直しなどを進めるとあるが、具体的にどのような内容なのか。

○事務局

用途を緩和して近隣に小規模店舗の進出を促したり、二世帯住宅を建てられるような用途変更を検討するほか、ＪＲ北広島駅周辺についても高度利用ができるように見直しを検討する。

○委員長

用途地域の見直しについては、具体的に表現したほうが良い。

○事務局

修正する。

○A 委員

91 頁の大曲地区の将来推計では、平成 27 年度から平成 32 年度までで 52 人しか増えていない。近年は商業施設の進出などもあり栄えている印象があるが、あまり増えないという捉えなのか。

○事務局

微増傾向であると認識しているが、各地区毎の推計については、今後精査していく。

○委員長

色々な意見が出されたので、事務局には、反映作業をお願いしたい。

4. その他（次回開催日程についてなど）

今後は、見直し原案のパブリックコメントを 1 月に実施する。次回の委員会の日程は 2 月中旬以降で調整。

5. 閉会

会議録署名委員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿